

2026年4月20日

各位

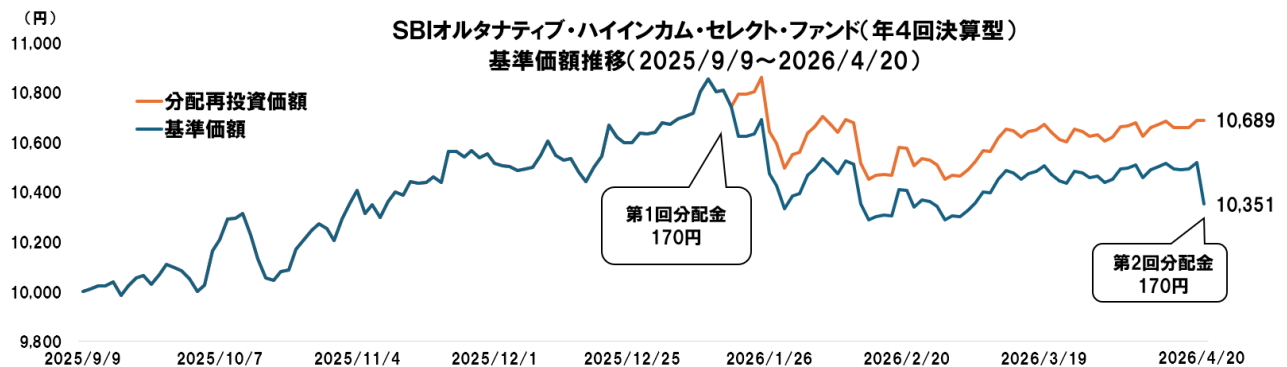
会社名 SBIグローバルアセットマネジメント株式会社
 (コード番号 4765)
 (上場取引所 東京証券取引所 プライム市場)
 代表者 代表取締役社長 朝倉 智也
 開示責任者 常務執行役員 CFO 小笠原 靖行

『SBI オルタナティブ・ハイインカム・セレクト・ファンド (年4回決算型)』
 第2回分配金 170円のお知らせ

～日次で設定・解約可能なプライベート・クレジット投資ファンド～

当社子会社のSBIアセットマネジメント株式会社(以下「SBIアセット」)が、2025年9月9日(火)に設定し、運用を開始しました「SBI オルタナティブ・ハイインカム・セレクト・ファンド(年4回決算型)」(以下「本ファンド」)の、2026年4月20日決算の第2回分配金が170円(10,000口あたり、税引前)となりましたので、お知らせいたします。

第2回分配金である170円は、現地源泉税を考慮した配当率に換算すると、当初募集価額である10,000円に対して7.56%に相当^{*1}するものです。今回の分配金は受取配当金等の収益をもとにした分配可能原資より支払われておりますが、各受益者様の個別元本の状況により、特別分配金^{*2}(非課税の元本払戻金)となる場合もございます。



本ファンドは、KKRが運用を行う上場投資信託をはじめ、複数の大手資産運用会社が運用を行うETFへの分散投資を通じて、バンクローン、ハイイールド社債などの従来からのパブリック・クレジット投資に加え、プライベート・クレジット投資(非公開会社が発行したローン、債券等)に実質的に投資することにより、安定したインカム・ゲインを生み出すことを目的としています。

本ファンドの最大の特徴は、非公開ローンや担保付き債権などで構成されるプライベート・クレジットに投資可能であることであり、これらは相対取引で組成され、多くが第一優先担保付きであり、近年、低金利時代の代替投資として世界的に急拡大しています。

従来、この種の投資信託は高コストで流動性が低く、投資家の皆さまに大きな負担をおかけするものでしたが、本ファンドでは、実質的な信託報酬は年1.5204%程度と同種同類の公募投資信託において最低水準のコスト^{*3}で、基準価額は毎営業日に公表、申込・解約は原則日次、解約代金も6営業日に受け取り可能と、機動性と利便性を飛躍的に高めています。

なお、足元、米国の一部個人投資家向けプライベート・クレジット・ファンド(BDC形態)において解約制限の発動が報じられておりますが、本ファンドは流動性の高い上場投資信託を主要な投資対象としており、日次での設定・解約に問題はありません。また、早期にキャッシュ・ポジションを引き上げており基準価額の安定性を高めています。

今後も、「顧客中心主義」のもと、低コストで良質な運用商品を提供することにより、投資家の皆さまの最適な資産形成に貢献してまいります。

以上

*1: 今回の分配金の年4回換算額を当初基準価額で除し、海外源泉税(10%)控除前に換算した利回り。

*2: 特別分配金とは、分配金落ち後の基準価額が各受益者様の個別元本を下回る部分で非課税となりますが、個別元本額は各受益者様のお買付状況により異なります。

*3: プライベート・クレジット投資を含む公募投資信託として、ウエルスアドバイザー株式会社のデータをもとにSBIアセット調べ(2026年4月17日現在)